

Title	「やれる理由こそが着想を生む。」
Author(s)	川口, 淳一郎
Journal	歯科学報, 115(5): 466-466
URL	http://hdl.handle.net/10130/3824
Right	

記念講演

「やれる理由こそが着想を生む。」

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

シニアフェロー

宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系

教授

川口淳一郎

はやぶさは、前人未踏、他のどの国も誰も考えていなかった独創を実現させることができました。自信さえもてれば、私たちには、海外に模範や手本が存在する必要はなかったのです。自分たちを信ずればよい。やれる理由を見つけて挑戦しない限り成果は得られないのです。

日本人は、しっかりと、きちんとしてなくては、という意識が強すぎて、どうしても新しいことへ挑戦することに躊躇してしまいがちです。やらなくてよいのではないか。そうではありません。前例があることだけを追っただけでは、けっして新しい成果を得ることはできません。どうしたら、できるのか、やれるのか。それに積極的に答えを見つけていくことが前進につながるのです。「やれる理由をみつけて挑戦しないかぎり成果は得られない。」この意識をもつことが、日本の将来を握っています。

《プロフィール》



<略歴>

宇宙工学者、工学博士。1978年 京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。

2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループ プログラムディレクタ (JSPEC/JAXA)、1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務める。

現在、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 (ISAS/JAXA) 宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月より、シニアフェローを務める。

ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャを務めていた。

<著書>

『人工衛星と宇宙探査機』(コロナ社)

『航空宇宙における制御』(コロナ社)

『ビークル 計測・制御テクノロジーシリーズ』(コロナ社)

『はやぶさ、そうまでして君は～生みの親がはじめて明かすプロジェクト秘話』(宝島社)

『カラー版 小惑星探査機はやぶさ―「玉手箱」は開かれた』(中公新書)

『「はやぶさ」式思考法 日本を復活させる24の提言』(飛鳥新社)

『閃く脳の作り方 飛躍を起こすのに必要な11のこと』(飛鳥新社)